

ふちゅう 市議会だより

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/gikai>

No. **279**
2 0 1 6

平成28年 4月28日発行
発行：府中市議会
〒183-8703 府中市宮西町2-24
電話：042-335-4506
FAX：042-364-5415

主な内容

- 2・3面
・予算特別委員会
4～7面
・一般質問
・常任委員会審査報告
・特別委員会中間報告
8面
・陳情
・議決結果一覧



▲平成29年度2学期に供用開始を予定している新学校給食センター完成予想図

平成28年度 府中市一般会計予算1010億円を可決 平成28年第1回定例会 39議案を審議

平成28年度一般会計予算は、予算総額が歳入・歳出それぞれ1010億円で、前年度に比べ8・8%の増となっています。

提案に当たり、市長から「28年度の市税は、個人市民税や固定資産税などで約4億円の増収を見込んでいます。

市税収入は回復傾向にあるが、歳出では、生活保護や障がい者福祉などの社会保障関係経費が依然として伸び続けている。また、少子高齢化対策などの時代の要請に応じた施策も求められており、予算を許さない財政状況が続くものと考えている。

このため、28年度予算編成では、これまで取り組んできた施策や事業の進捗状況を踏まえ、市民のニーズを捉えながら着実に市政を発展させるため、市民との協働のもと、様々な施策を推進する一方で、各施策が現状に合ったものとなるよう事業の見直しに取り組むなど、より一層の健全財政の維持にも努めた。

28年度は、中心市街地活性化によるにぎわいの創出やスポーツタウン府中の更なる推進など、輝く府中の未来へ向けた取組を進めるとともに、第6次府中市総合計画の都市像である『みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち』の実現に向けて、全力で市政運営に取り組んでいく」との説明がありました。

3月9日から15日にかけて開催された予算特別委員会では、慎重な審査が行われ、3月17日の本会議において、賛成・反対討論を行い、採決の結果、賛成多数で平成28年度一般会計予算が可決されました。

(関連記事2・3面)

主な施策

新規事業

○府中ふるさと寄附金推進事業

○防災意識啓発事業（地域自主防災連絡会（仮称）創設）

○地域福祉コーディネート事業

○コンビニ交付運営事業

○各種がん検診事業

○特別支援教育推進事業

○給食センター新築事業

選挙管理委員及び 補充員の選挙

定例会最終日の本会議で選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙が行われ、次の方々が当選されました。

■選挙管理委員

相原 博 氏（75歳）

内藤 和良 氏（66歳）

小林 建一 氏（65歳）

野尻 亜弓 氏（52歳）

■選挙管理委員補充員

天野 欽也 氏（81歳）

西谷 晴江 氏（78歳）

山崎 敏美 氏（64歳）

柴野 和夫 氏（72歳）

意見書

◎年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

公的年金は高齢者世帯収入の7割を占め、6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活しており、年金は老後の生活保障の柱となっている。

そのような中、国は、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が株式の自主運用を解禁するなど、公的年金積立金の運用に当たり、株式や外貨資産などリスク性資産の割合を拡大するよう見直しを進めている。

平成28年2月に開催された社会保障審議会年金部会では、年金の株式直接運用の解禁に反対するなどGPIF改革に対する共同意見書が出された。年金積立金を毀損した場合、被保険者・受給者が被害を被ることになる。

こうした現状にかんがみ、本市議会は、国会及び国に対し、年金積立金は法の規定に基づき、専ら被保険者の利益のために長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持することなどを要請する。

議員が失職

備邦彦議員（友愛会）は、平成28年3月28日付で、公職選挙法違反による公民権停止に伴い失職しました。

このたびの熊本地震における被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

府中市議会は、4月22日に熊本県へ義援金をお送りしました。